

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 7 年 5 月 2 日(金) 18:30～20:10

場 所： 農村環境改善センター

出席者： 17 人

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 懇 談

(1) 令和 7 年度の推進事業について 資料①参照

(2) 自由懇談

4. その他

- ・資料②参照 「関係機関・団体からの質問・意見」に対する回答一覧
- ・資料③参照 犯罪被害者等の支援について

5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■ネイポジポカードについて

町 民 ネイポジポカードはボランティアに参加することでポイントがつくのか。今までの健康マイレージのような考え方なのか。対象になる事業の一覧などは作るのか。

商工観光課長 今年の 10 月開始に向けて、商店街が中心になって進めている栗夢カードとギフトカードがひとつになる。新たなカードの中に行政ポイントという名称で、例えば、町民の方がくりやまハーフマラソンに協力いただいた場合にポイントを付与し、それを商店街で使えるお店で使ってもらい経済を循環させるものでデジタルの地域通貨という形で準備している。初めからたくさんの事業に、ポイントを付与することができないが、健康診断を受けていただいた際のポイントなども、この行政ポイントに組み込めるよう準備をしている。対象事業のお知らせについては、現在、紙ベースで管理しているが、このほかスマートフォンのアプリで確認できるようになる。紙でもお知らせするが、紙だと頻繁に更新することが難しい。10 月の時点でできる限り対象になる事業を掲載できるよう準備を進めたい。

■学校統廃合後の避難所について

町 民 2027 年に角田小学校が統廃合されて栗山に移ることになるが、角田小学校は避難所に指定されている。角田町内の避難場所はどうなるのか。

総務課長 角田小学校、継立小学校が統廃合した場合、避難所の収容人数や避難場所も含め総合的に検討を進める。決まり次第お知らせしたい。

■災害備蓄品について

- 町 民 備蓄品の簡易ベッドとパーティションの備蓄の量だが 730 台ずつというのはおかしいと思う。簡易ベッドの方を多くするべきでないか。
- 総務課長 パーティションはプライバシー確保のため、意見や要望を多くいただいている。備蓄品は都度、更新している。

■ICT を活用した学校教育について

- 町 民 社会の流れというか、時代が流れているか、機械を使った学校教育がされているが、先生と黒板があれば、シンプルな教育で大変いいのではないか。いろいろな機械を使った授業によって、子どもに健康被害や問題が起きていないのか。
- 教 育 長 健康的な問題でいうと、スマートフォンなどと同じで画面から出るブルーライトの影響や視力の低下が考えられるが、端末を導入した時に、医師が一般的に言っている標準時間を守り健康に被害を与えないようにしている。活用の例を挙げると角田小学校と継立小学校で遠隔の学習をしている。それぞれ端末を使って画面で児童同士授業をやっている。3、4 人の学級ではどうしても幅広い意見が出ないという課題があるが、小規模の学校同士で移動時間を使うことなく画面を通して同じ授業をすることができている。知識ばかりをきちんと子どもたちに植え付けることよりも、心をしっかりと先に育てて、そこに知識をつけていってほしいと考えている。機械でなく先生が中心となって教え込む授業も大事なので、バランスをしっかりと取っていききたい。

■町独自の教育について

- 町 民 1 年生からもう 5 時間の授業があったり教科も増えたりして授業内容も増えている。できるだけ子どもたちの環境を勉強のしやすい環境、それから先生の働きや子どもたちと深いつながりを持ちながら授業できる環境づくりをしてもらいたい。栗山町独自の学校教育課程でやっていただければと思っている。
- 教 育 長 5 時間授業の関係は全国で標準時数が決められており変えることはできない。それをするとペナルティを与えられてしまい、町の独自性はさらに出せなくなる。国語、算数、理科、社会は国から指導されるが、総合的な学習の時間は、栗山独自の時間にすることができる。栗山町に特化した内容の授業を教員と相談しながら進めている。

■マイナ保険証について

- 町 民 厚労省が、マイナ保険証を「持っている」「持っていない」にかかわらず、75 歳以上の方全員に資格確認証を発行すると発表した。75 歳以上の方には全員に資格確認証を発行するというのであれば、今までの保険証を復活させることと大差ないと思う。運転免許証はマイナ免許証と従来の免許証のどちらを使うか選択できるのでマイナ保険証もそういうふうにとできると思う。国にも声を上げていただきたい。
- 町 長 栗山町だけではなく全道、全国の自治体が国に対して、利用される方が、混乱を招かないように進めていただきたいということを要望している。利用される方が混乱を招かないように進めていただきたいということは、これからも国に伝えていきたい。

■小中学校再編準備委員会の協議内容について

- 町 民 小学校の統廃合に向けた準備委員会が開かれたという新聞記事を見たが、検討委員会と構成されてるメンバーの方は同じなのか。協議の内容は、広報などでお知らせしてもらえるのか。
- 教 育 長 小中学校再編準備委員会は3校が一緒になるための会なので、学校の関係者が中心。校長、教頭、それからPTA、役員の方などで、地域の課題、学校の課題などの協議を進め、3校が一緒になるための準備に入っている。地域が関わることや子どもの地域との行事などについては、皆さんにお知らせしながら進めたいということで進められている。

■統廃合後も子供が楽しく学校に行けるように

- 町 民 子どもが大人になっても「学校が一緒になってよかった」と思い出に残るようにしてもらいたい。子どもを大事にしていきたいなって思っている。例えばスクールバスを少し増やして、ゆとりある形で学校に行けるようにするとか。バスに乗っている時間が30分も40分かかっていう状況では、子どもが学校で疲れを取るようなもの。子どもが楽しく学校に行けるように考えてほしい。
- 教 育 長 考えは同じなので、そういうふうにしていくことのできる教育委員会と地域でありたい。

■公営住宅の入居・申し込みについて

- 町 民 団体からの質問・意見の資料（まちづくり懇談会資料②）で、松栄町年会の意見を見ると2年前から松栄団地に空部屋があるように書いてある。今年の1月くらいに、他市町村から栗山に住みたいという高齢の方がいたので、公営住宅の空き状況を調べてみたら継立団地とふじ団地の上の階は空いていたがあとは空いていなかった。何かあって入れないようにしているのか。
- 建設課長 松栄団地の空きは1件、そこは入居予定ということで、実質空きのない状態になっている。詳しいことを言うのは控えるが、入居者の体調などの個人的な事情により、荷物を置いたままで居住していない部屋がある。家賃は支払ってもらっている。退去してもらうよう指導しており今後も継続したい。

■熊の対策について

- 町 民 鳥獣保護管理法が改正され、熊が人を襲いそうな時には、市町村長の判断により住宅地でもハンターに発砲を委託できるようになった。秋には法律が施行される見通しなので町でも専門的な人材を確保するなど対応したほうがいいと思うが。
- 町 長 人的な被害は必ず防がなければならない。町職員にも免許を持ったハンターが2人いる。専門の知識は猟友会の方々が一番持っているので、そういった方々からのアドバイスをいただきながら対応していきたい。